

寄付金の報告

小島精一様より寄付を頂きました。

この度、平成23年秋の叙勲にて瑞宝双光章を受章された小島精一様から、本会へ20万円の寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

小島様は現在、公益財団法人埼玉県健康づくり事業団にてご活躍されておりますが、過去には東松山市立市民病院の放射線科部長を歴任された他、消化器がん検診学会の世話人、本会においては監事を務められるなど、病院外の診療放射線技師にも目を掛けていただきました。本当にありがとうございました。

小 川 清

リレー・フォー・ライフ川越2012ボランティア募集のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 小川 清

平素は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度もリレー・フォー・ライフ川越に参加することが決定致しました。本会として、たくさんの方が参加され、支援の輪が広がることを願いボランティアの募集をいたします。わずかな時間でも結構です。ご参加していただける方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

開催要項

リレー・フォー・ライフ川越 2012

日 時：平成24年9月15日（土）13時00分～16日（日）13時00分

会 場：川越水上公園芝生広場

場 所：埼玉県川越市大字池辺880

内 容：がん患者さんや家族、その支援者と共に会場を交代で24時間歩きます。また、チャリティ活動としてかき氷の販売や医療画像展を行います。

参 加 費：無料

寄 付：一人500円以上（個人負担）

申 込 期 間：平成24年7月17日～平成22年9月8日

問い合わせ：埼玉社会保険病院 星野 弘 Mail h-hoshino@sart.jp



リレー・フォー・ライフ川越：<http://www.rfl-saitama.com/> 無料駐車場：500台

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

— 平成24年度（第14回）SARTセミナー —

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 総務常務理事 田 中 宏

平成24年5月20日、埼玉県済生会川口総合病院にて、公益社団法人日本放射線技師会、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会合同主催によるフレッシューズセミナーが開催されました。

参加者は42名でした。

本セミナーは技師会活動のアピールと新人教育を目的とし、未入会者を対象としていますが、既に勤務されている方が原点に戻る内容も含まれており、診療放射線技師であればどなたでも受講できます。

プログラム内容は以下の通りです。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 技師会について（認定制度） | 田中 宏 |
| 2. 社会人としてのエチケット・マナー講座 | 中根 淳 |
| 3. 患者さんに優しい診療放射線技師 | 岡田 智子 |
| 4. 医療安全講座 | 佐々木 健 |
| 5. 感染対策講座 | 佐々木 健 |
| 6. 気管支解剖講座 | 富田 博信 |
| 7. 症例検討会 | |
| 乳房 | 越沼 沙織 |
| CT・肺 | 城處 洋輔 |
| 消化器 | 今出 克利 |



症例検討会



講義

「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」に参加して

さいたま赤十字病院 兼 子 友 美



5月20日に、埼玉県済生会川口総合病院で行われたSARTセミナーに参加しました。セミナーでは、社会人としてのエチケットマナーから読影まで、丁寧に教えていただきました。多くの素晴らしい先輩技師の貴重なお話を伺うことができ、より診療放射線技師という仕事の重要度や責任を感じ、身が引き締まる思いが致しました。

“患者さんに優しい診療放射線技師”という講義で教えていただいたことは早速実践しています。「技師にとっては何万回目の検査でも、患者さんにとっては初めての検査である」という言葉がとても印象的でした。患者さんに気持ち良く検査を受けて帰っていただくためにできることは何か、以前よりも考えながら検査をしています。

“気管支解剖講座”では気管支の分岐を短時間で楽しく覚えられる“気管支体操”を教えていただきました。私は立体的な解剖を覚えるのが苦手であったため、とても感謝しています。これからCT部門に行くのが楽しみです。

“症例検討会”では乳房・肺・消化器の読影を教えていただきました。難しい部分もありましたが、大変勉強になりました。マンモグラフィは特に女性技師が活躍できる検査だと思いますので、積極的に勉強し、認定技師などの資格を取りたいと考えています。

他にも医療安全・感染対策などの講義をしていただき、とても充実した一日でした。

技師会では各種専門分野における生涯学習セミナーの開催や、診療放射線技師総合学術大会の開催、各種認定資格制度や臨床技術能力検定などを行っていると聞きました。社会人になっても勉強できる場があることは本当にありがたいことだと思います。私もぜひ技師会に参加し、技師としての能力を高めたいと感じました。セミナーで教えていただいたことを忘れずに、質の高い医療を提供できる診療放射線技師になりたいと思います。

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

上尾中央総合病院
小島久実

平成24年5月20日に開催されたフレッシューズセミナーでは、私たちがこれから診療放射線技師として業務を行っていく上で必要なエチケット・マナー、患者さんに対する接遇、医療安全・感染対策、気管支解剖の講座や症例検討会が行われました。

エチケット・マナー講座では、診療放射線技師である前に社会人としての電話応対、タクシーや会議室での席次、ビジネスメールの書き方など、社会人マナーを学びました。接遇の講座では「患者さんに優しい診療放射線技師」ということで、患者さんが安心して検査を受けられるような言葉遣いや対応を学ぶことができました。技師にとっては何万回目の検査でも、患者さんにとっては初めての検査であるので、患者さんの目線に立って対応しなければならないと感じました。医療安全講座では、医療事故を防ぐための安全管理の取り組みを学び、危険予知トレーニングなどを行って、ひとりひとりのリスクセンスの強化を行うことが必要であるということ学びました。感染対策講座では、感染症や感染予防の理解を深め、手洗いや手指消毒の手順、ガウンの着用の仕方を習いました。気管支解剖講座では右肺と左肺の解剖図の気管支分枝に色を塗り、また気管支体操を行なって、右肺10区域、左肺8区域の気管支の解剖を目と体で覚えることができました。症例検討会では、CT（肺）、マンモグラフィー、上部消化管撮影の3種類の検査の症例検討を行いました。CTは、胸部の主な所見である陰影やサイン、肺癌、びまん性肺疾患などの画像を見て、その病気の特徴を学びました。マンモグラフィーでは、カテゴリー分類、病変の形状分類、読影の手順など基礎的な知識を学び、そのあと実際に自分たちで腫瘍や石灰化を見つけ、境界、石灰化の形状をカテゴリー分類しました。病変がある場所がわかっても、その病変を細かく分類するのは難しく、たくさん症例画像を見てよく観察する必要があると感じました。上部消化管撮影では胃透視画像よりマンモグラフィー同様、病変の肉眼型分類、胃壁進達度などの分類をして検討しました。またリンパ節、肝臓、腹膜転移の分類、組織型分類、癌の進行度などについて学びました。

今回のセミナーでは基礎的な知識を学び実習することができました。このセミナーで学んだことを今後の業務に生かし、成長していきたいと思えます。